香川県教育委員会 8月定例会会議録

1. 開催日時 令和6年8月19日(月)
開 会 午前10時00分
閉 会 午後0時15分

2. 開催場所 教育委員室

3. 教育委員会出席者の氏名

教 育 長	淀 谷 圭 三 郎
委 員	藤 澤 茜
委 員	木 下 敬 三
委 員	蓮 井 明 博
委 員	鳥 取 美 穂
委 員	持 田 め ぐ み

4. 教育長及び委員以外の出席者

副教育長(兼)新県立体育館整備推進総室長	海 津 洋
教育次長(兼)政策調整監	塩 田 広 宣
教育次長	吉 田 智
総務課長	近 藤 高 弘
義務教育課長	荻 原 絢 嗣
高校教育課長	長 林 真 司
特別支援教育課長	笠 井 幸 博
保健体育課長	渡 邊 浩 司
生涯学習・文化財課長	佐々木 隆 司
政策主幹(兼)総務課副課長	宮 西 正 博
総務課長補佐	脇 悠 介
総務課長補佐	三 好 智 久
義務教育課長補佐(兼)主任管理主事	東 条 直 樹
高校教育課長補佐(兼)主任管理主事	三 笠 善 宣
高校教育課長補佐(兼)主任指導主事	佐 伯 卓 哉
高校教育課主任指導主事	濱 口 大
特別支援教育課主任指導主事	岡 孝 弘
総務課主任	宮 崎 卓 磨
総務課主任	西 村 達 也
義務教育課主任	宮 本 将 弘
高校教育課主任	西 野 慎 吾

傍聴人 0名

5. 非公開案件の決定

教育長から、本日の議題のうち、議案第2号は、教育委員会において会議を公開しないことと定めているもののうち、「県の機関が行う事務に関する情報であって、公にすることにより、人事管理に係る事務に関し、公正かつ円滑な人事の確保に支障を及ぼすおそれがあるもの」に、議案第3号は、「県の機関の内部における審議、検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるもの」に該当し、また文部科学省初等中等教育局長名で、静ひつな採択環境を確保し、公正かつ適正な教科書採択を行う旨の通知が出されていることから非公開としたい旨、議案第4号、第5号、第6号は、「個人に関する情報」であって、「公にすることにより、なお、個人の権利利益を害する恐れがあるもの」、及び「県の機関が行う事務に関する情報であって、公にすることにより、人事管理に係る事務に関し、公正かつ円滑な人事の確保に支障を及ぼすおそれがあるもの」に該当するため、非公開としたい旨を発議。

各委員に諮り、非公開とすることに決した。

6. 議 案

○議案第1号 教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について

総務課長から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、令和5年度における教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について諮る旨、説明。

【質疑】

<蓮井委員>地域教育行政懇談会に参加し、現場で対面でしか把握できないような率直な意見を聞いて良かったと思う。

<総務課長>PTAが現場でどのように動いているのかわかったのが印象的で、それをどう生かして取り組んでいくのか、事務局の姿勢を問われていると感じた。

<藤澤委員>この懇談会の後に、参加した方と話す機会があり、「参加者が意見を言う度に事務局がそれに答えていただきありがたいが、お互いの率直な意見を言い合うのみで、回答になっていなくてもいいのではないか。ロの字（の配席）で一人1回しか意見を言わないやり方も、もったいない。お互いの意見を出せるだけ、出し合うのでもよいのでは。」との意見を伺ったのでお伝えする。

<総務課長>司会が拙く、申し訳ない。意見を言うだけで、都度答えなくてもよいのでは、とのご意見でよいか。

＜藤澤委員＞小グループをいくつか作り、その中で意見を出し合うやり方でもよいと思う。せつかくの機会なので、形式的なところも含めて考えて欲しい。ここからは私の個人的な意見であるが、教育委員会の方と出席者が率直に意見を出し合い、それをまとめておき、後で取り組みに生かすようにしてもよいと思う。

＜総務課長＞わかった。考えてみる。

＜教育長＞今は一人1回発言しているが、やり方に正解はないので、プレスト的にアイデアを出し合うのでもよいかもしれない。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第2号 懲戒処分の指針の策定について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第3号 令和7年度に県立高等学校及び県立特別支援学校（高等部）において使用する教科書並びに県立特別支援学校において使用する一般図書等教科書の採択について（非公開案件）

高校教育課長から、令和7年度に県立高等学校において使用する教科書について、全体の概要及び選定に関する資料について説明。

特別支援教育課長から、令和7年度に県立特別支援学校（高等部）において使用する教科書について、過去の教科書選定及び採択においても、県立高等学校と同様の手続きで、各校において選定されたものについて、教育委員会で、承認、採択をされていること、特別支援学校高等部在学者のうち、県立高等学校と同様の教科書を主に使用しているのは、高等学校に準ずる教育課程のある視覚支援学校、聴覚支援学校、高松支援学校、善通寺支援学校の知的障害を伴わない生徒のほか、知的障害特別支援学校においても、地図や音楽、美術において、少数ではあるが、検定済み教科書が選定されていること、選定においては、生徒の進路希望や学習指導要領に示された観点に加え、個々の障害特性から生じる学習上又は生活上の困難を踏まえ、「見やすさ」、「めくりやすさ」、「理解のしやすさ」といった「学びやすい」環境を整えるという観点から検討を行っていることを説明。

特別支援教育課長から、令和7年度に県立特別支援学校において使用する一般図書について、特別支援学校では、学校教育法附則第9条の規定によって、絵本などの一般の図書を教科書として使用できるようになっており、これについては、毎年採択することとしていること、また本県では、文部科学省が示す「一般図書一覧」のすべての図書について、教科用図書選定審議会による調査を終えて、「選定に必要な資料」に掲載しており、これらの図書の中から、児童生徒の障害の程度に応じて、適切な教科書を選定、採択しているが、本年もこの資料な

どを基にして、各校が本を実際に手にとり、慎重に再調査、検討していること、学年の途中から転校してくる児童生徒もいるため、すべての児童生徒の障害の程度に応じた適切な教科書を採択することが必要なことから、一般図書選定一覧に掲載しているすべての図書について、一括採択を諮りたいことを説明。

特別支援教育課長から令和7年度に県立特別支援学校において使用する文部科学省著作教科書について、対象となる教科書は、具体的には、視覚支援学校などで使用する点字教科書、聴覚支援学校などで使用する聴覚障害者用の言語指導などの教科書、知的障害の教育課程を設定している特別支援学校などで使用する、いわゆる星本と呼ばれているものであること、学年の途中から転校してくる児童生徒もいるため、すべての児童生徒の障害の程度に応じた適切な教科書を採択することが必要なことから、教科書目録に掲載されているすべての著作教科書について、一括採択を諮りたいことを説明。

高校教育課長から、県立高等学校及び県立特別支援学校の教科書採択などについて一括して、採択について諮る旨、説明。

【質疑】

<委員> 高校の教科書については、変更の1%32件は検討した結果なので問題ないと思う。新規の4%120件はどのような背景で選ばれたのか。

<高校教育課長> 定時制の4年生用の教科書である。

<委員> 定時制の4年生用のみなのか。わかった。

<委員> 毎回、聞いているが、何千種類とある教科書から選定するのはかなりのマンパワーが必要だと思う。一個人としては、もう少し効率的に選定出来ないのかと考える。鳥取委員からは、選定する作業に楽しみもあるとの意見をいただいたが、同じ高校生なので、普通科の理系コース、文系コース、商業科コース、工業科コース、農業科コースのようにグループ分けし、その中で同じような教科書を使うやり方を提案するのはどうか。

また、学校の教員から、教える側としてはモチベーションの維持が困難な場合があると聞いている。それは生徒にとって教科書のレベルが高いのか、教員としてこのレベルは理解して欲しいのか、それとも生徒側の資質の問題なのかはわからないが、教える側と受ける側の乖離が気になった。現場とも相談し、教員と生徒たちが時間を共有しているので、納得できる授業づくりができないものかと考える。

<高校教育課長> 教科書の選定作業について、現場に負担をかけていることは申し訳なく思う。ただ、各学校、コースや細分化された学科の生徒の実情を考慮した採択内容になっていることを尊重したいと考える。

学級集団の中には、様々な生徒がおり、授業においても教科書そのものを教えるというよりは、教科書を使って学習指導要領に盛り込まれている本来身に付けさせたいものを、教科書を通して教えている。今であればタブレットも普及して

いるので、補足資料としてそれで資料や動画などを見せて、理解させることも授業の手法の一つである。生徒のためにといいた気持ちは教員が皆持っている。苦労している教員もいると思うので、指導に係る工夫などを伝える機会を確保し、教員を支えていきたい。

<教育長>

(説明時に、新規採択件数等の) 数字を次回から表などにまとめて欲しい。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第4号 教職員の懲戒処分について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第5号 教職員の懲戒処分について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第6号 教職員の懲戒処分について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。